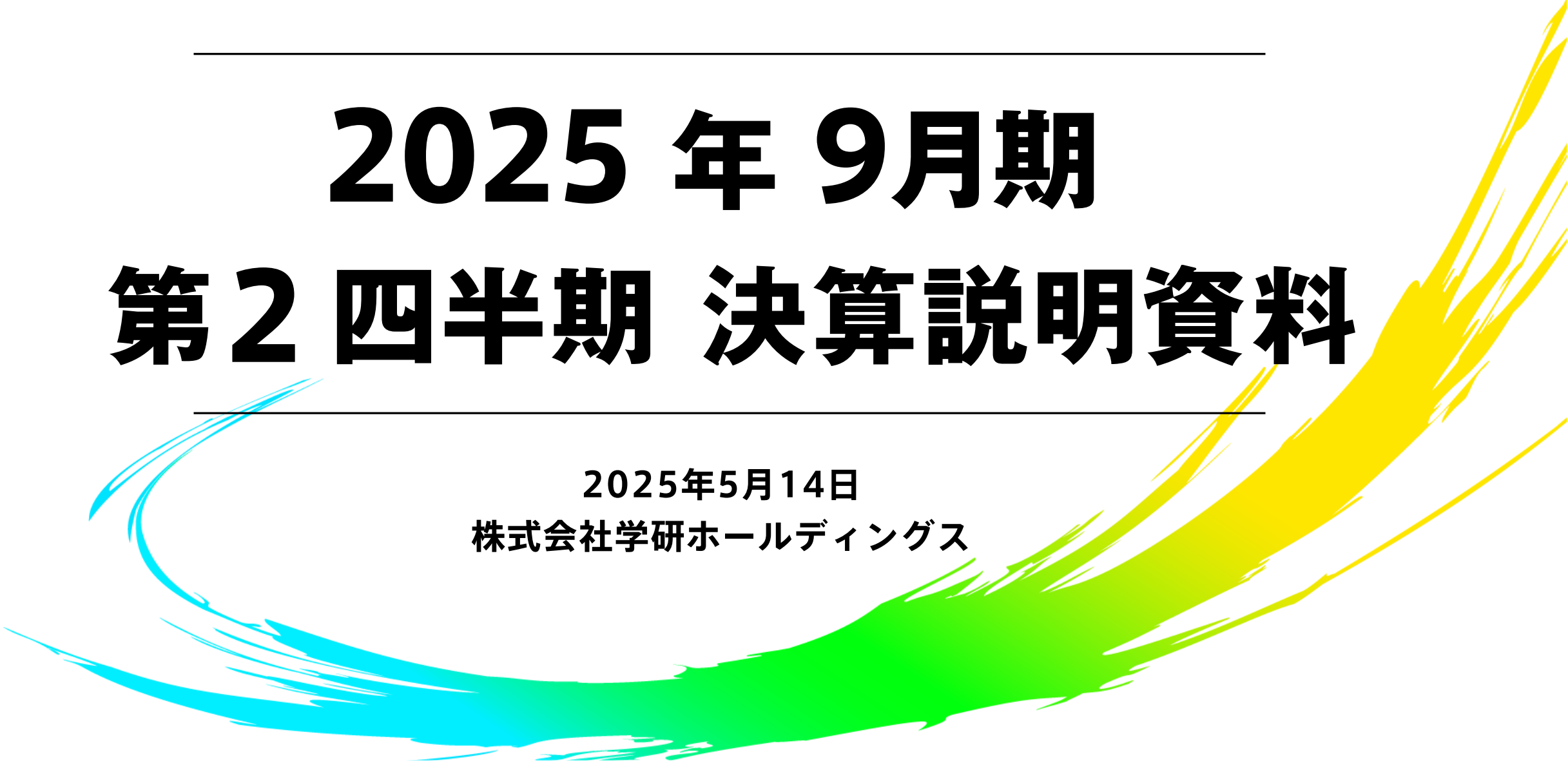

2025 年 9月期 第2 四半期 決算説明資料

2025年5月14日
株式会社学研ホールディングス



人の可能性を どこまでも追求する会社へ

G rowth	人と社会の持続的な成長に貢献しよう
A ction	新しいきっかけを生み出す行動を起こそう
K nowledge	誰よりも学び、率先して知識を還元しよう
K indness	お客様や、共に働く仲間に優しさと思いやりを示そう
E njoy	誰かを楽しませるためには、まず自分が楽しもう
N ew Stage	ボーダレスに思考し、活躍の場を世界に広げよう

INDEX

- 2025年9月期第2四半期 決算概要 …… P.06
- 教育分野 業績 …… P.15
- 医療福祉分野 業績 …… P.19
- Gakken 2025 進捗 …… P.21
- 決算補足資料 …… P.32

80周年を迎えるにあたり

当グループは、2026年に創業80周年を迎えます。

皆さまの温かいご支援に、心より感謝申し上げます。

1946年の創業以来、私たちは常に社会課題と向き合いながら、
積極的に事業を変化し続けてまいりました。

「社会課題への挑戦こそが事業である」という信念は、
私たちのDNAです。

100周年に向けて、さらに皆さまと対話を深め、
ともに新たな価値を創造していくことを願っております。



2025年9月期 第2四半期決算 エグゼクティブサマリー

～前期比増収となるも原価・経費増により営業減益で着地～

売上高

988.4億円

前期比 +5.7% ↗

営業利益

45.4 億円

前期比 △11.7% ↘

経常利益

42.1 億円

前期比 △18.3% ↘

中間純利益

24.2 億円

前期比 +36.8% ↗

連結売上高：教育分野における出版コンテンツ事業の好調と桐原書店の連結化、医療福祉分野における施設数拡大により前期比5.7%増収

営業利益：教室・塾事業でのコスト管理強化、出版コンテンツ事業の増収によって増益なるも、医療福祉分野で物価高により原価・販売管理費が増加し、前期比11.7%減益

経常利益：営業利益の減益影響と持分法利益の減少で前期比18.3%減益

中間純利益：DTP社連結化に伴う段階取得差益による特別利益増加等で前期比36.8%増益

株主還元：総額10億円の自社株買い実施（2月完了）

2025年9月期 第2四半期 決算概要

2025年9月期第2四半期 連結業績サマリー

売上高

988.4 億円
前期比 **+5.7%** ↑

出版事業の復調、桐原書店のグループイン、介護施設数の増加により増収

営業利益

45.4 億円
前期比 **△11.7%** ↓

コスト管理を強化したものの、医療福祉分野において物価高騰の影響により減益

経常利益

42.1 億円
前期比 **△18.3%** ↓

営業利益の減少と持分法利益の減少により減益

EBITDA*1

66.5 億円
前期比 **△6.2%** ↓

のれん償却費は増加も、営業利益の減少により減益

中間純利益*2

24.2 億円
前期比 **+36.8%** ↑

前期に発生した有価証券売却損が無くなったこと及びDTP社の連結化により、中間純利益は増益

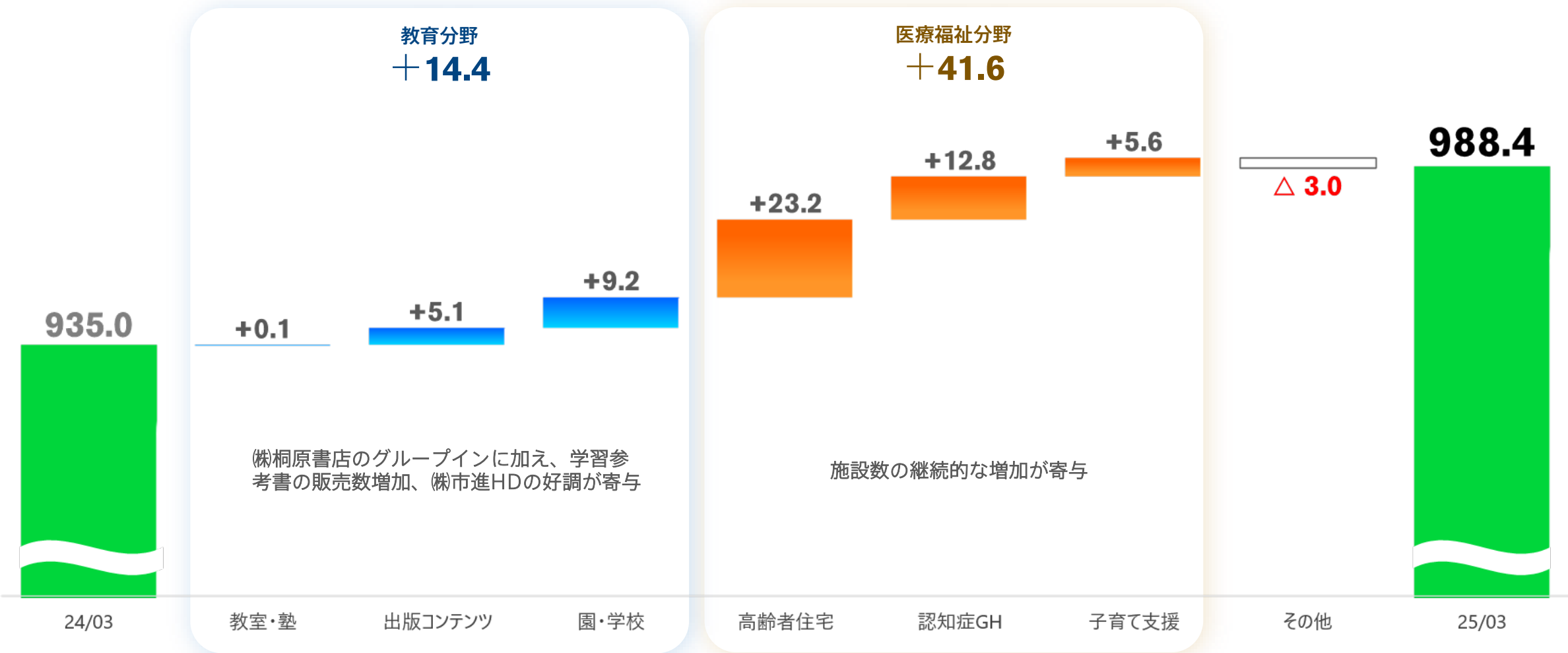
*1営業利益・減価償却費・のれん償却費の合算

*2親会社株主に帰属する中間純利益

売上高 増減分析

単位：億円

教育分野は桐原書店のグループイン、出版事業の復調と語学・社会人事業の伸張、医療福祉分野は施設増と高い入居率を維持し増収



営業利益 増減分析

単位：億円

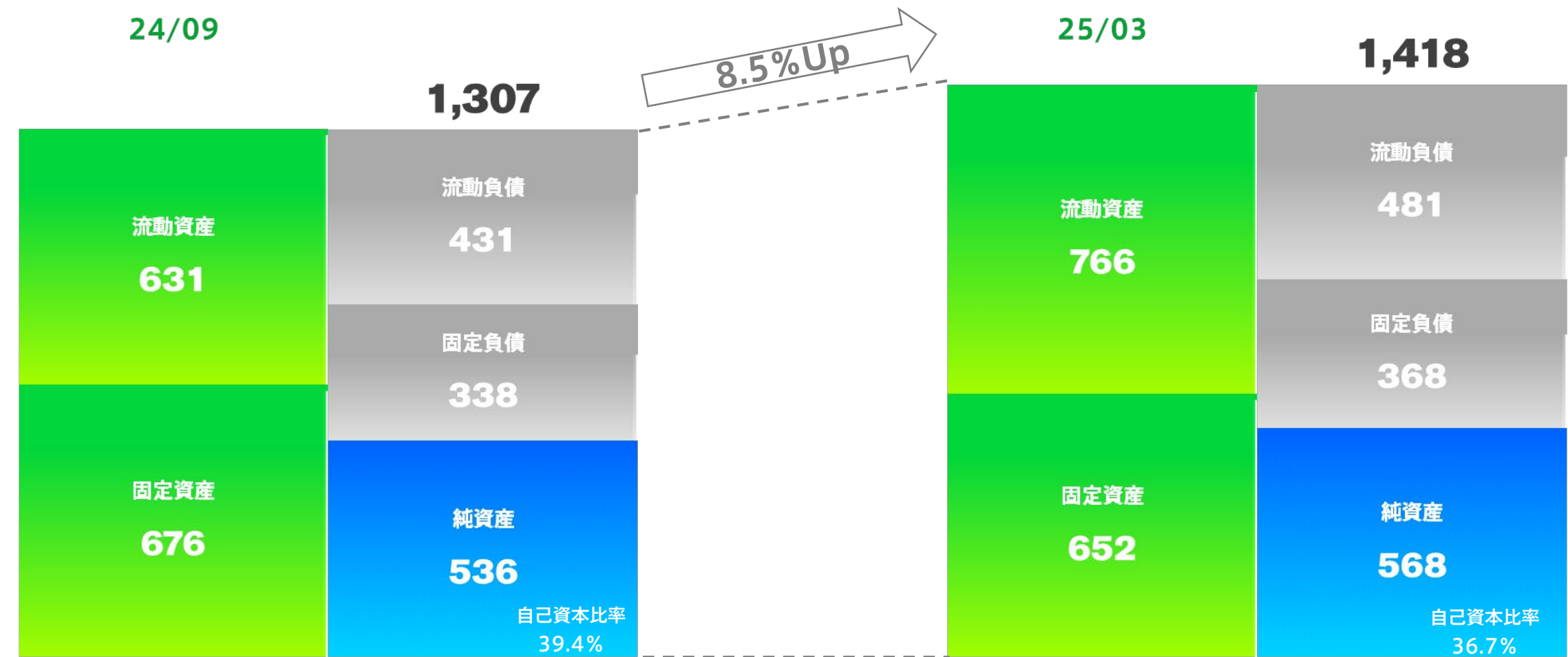
教育分野は増収並びにコスト管理強化で増益となるも、医療福祉分野は水道光熱費、食材費等の高騰により連結では減益



連結財政状態

単位：億円

事業拡大、在庫のシーズンリティ要因により、24年9月期比で総資産は8.5%増加。自己資本比率は36.7%に低下



2025年9月期 第2四半期セグメント別業績

単位：億円

セグメント 事業	2024年9月期	2Q実績	2025年9月期	2Q実績	増減（前年同期比）	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
教育分野	481.7	36.7	496.3	40.7	+14.6	+3.9
教室・塾	272.3	15.0	272.5	16.3	+0.1	+1.3
出版コンテンツ	130.5	12.4	135.7	15.7	+5.1	+3.3
園・学校	78.8	11.3	88.0	10.6	+9.2	-0.7
のれん	—	-2.1	—	-2.0	—	0.0
医療福祉分野	421.4	21.0	463.2	13.1	+41.8	-7.9
高齢者住宅	200.6	10.9	223.8	5.9	+23.2	-4.9
認知症グループホーム	186.4	12.0	199.3	9.1	+12.8	-2.8
子育て支援	34.3	0.8	40.0	1.1	+5.6	+0.2
のれん	—	-2.7	—	-3.2	—	-0.4
その他	31.8	2.8	28.7	2.5	-3.0	-0.2
調整額	—	-9.2	—	-10.9	—	-1.7
グループ合計	935.0	51.4	988.4	45.4	+53.3	-6.0

Gakken 2025 計画数値

単位：億円

グループ連結	2024年9月実績	2025年9月計画
売上高	1,855	2,000
教育分野	918	980
医療福祉分野	875	920
その他	61	100
営業利益	68	70
教育分野	41	42
医療福祉分野	42	45
その他（含む調整）	-15	-17
EBITDA	111	113
経常利益	69	72
当期利益	22	35
ROE	4.3%	6.6%

2025年9月期 セグメント別業績計画

単位：億円

セグメント 事業	2024年9月期 実績		2025年9月期 計画		増減 (対前期)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
教育分野	918	41	980	42	+61	+0
教室・塾	528	19	540	21	+11	+1
出版コンテンツ	263	21	280	24	+16	+2
園・学校	127	4	160	1	+33	-3
のれん	—	-4	—	-4	—	0
医療福祉分野	875	42	920	45	+44	+3
高齢者住宅	424	24	448	27	+23	+2
認知症グループホーム	379	22	400	24	+20	+1
子育て支援	70	1	72	1	+1	0
のれん	—	-6	—	-7	—	-0
その他	61	5	100	12	+38	+6
調整額	—	-19	—	-29	—	-9
グループ合計	1,855	68	2,000	70	+144	+1

2025年9月期の株主還元方針

株主還元の基本方針

配当性向 30%以上

自己資本比率を踏まえた機動的な株主還元

	2024年9月期の実績	2025年9月期の方針
年間配当	25円 (配当性向47.2%)	26円 (配当性向30%以上)
自己株式取得	20億円 実施	10億円 実施済み

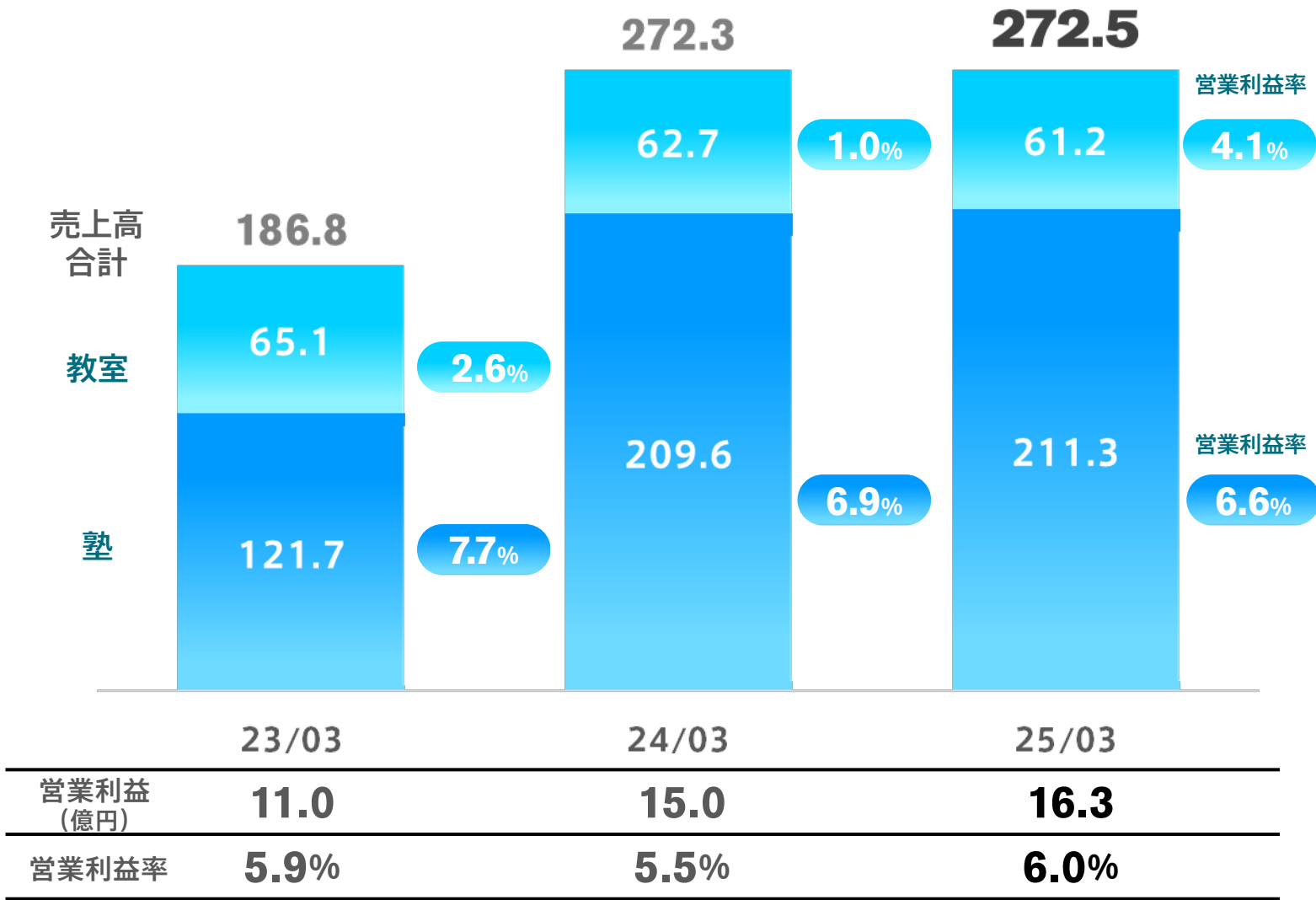
教育分野 業績

幅広く子どもたちの学習を支援する3事業を展開。社会人向けのサービスも拡充しています。

- 1)教室・塾事業…………… 日常学習を支援する幼児教室・学研教室に加え、各地で進学塾を運営
- 2)出版コンテンツ事業… 児童書、学習参考書等の出版物や、eラーニング等の制作・販売
- 3)園・学校事業…………… 幼保園等への物販や教科書・学校向け教材の制作・販売

教室・塾事業* 業績サマリー

単位：億円



ポジティブ要素

- ・ 首都圏の堅調なニーズ、市進ホールディングスでの増収
- ・ 教室・塾事業での不採算校の統廃合推進・経費削減
- ・ 教室事業での幼児会員数の増加・低年齢会員の取り込み

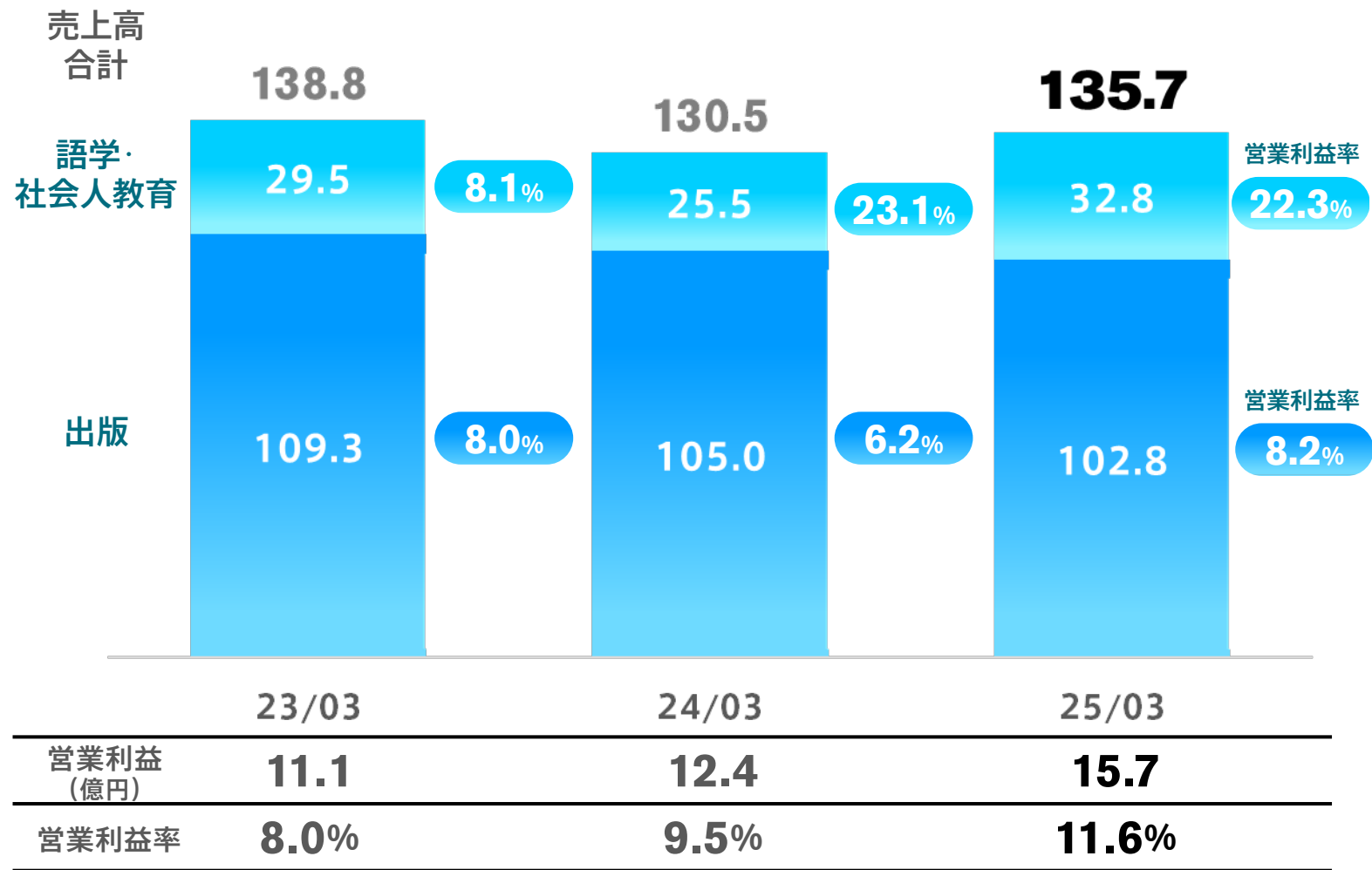
ネガティブ要素

- ・ 備品、水道光熱費等の費用の増加

*塾事業は市進ホールディングスの2025年2月期第3四半期及び第4四半期（9～2月）の業績を取り込んでいます。

出版コンテンツ事業 業績サマリー

単位：億円



ポジティブ要素

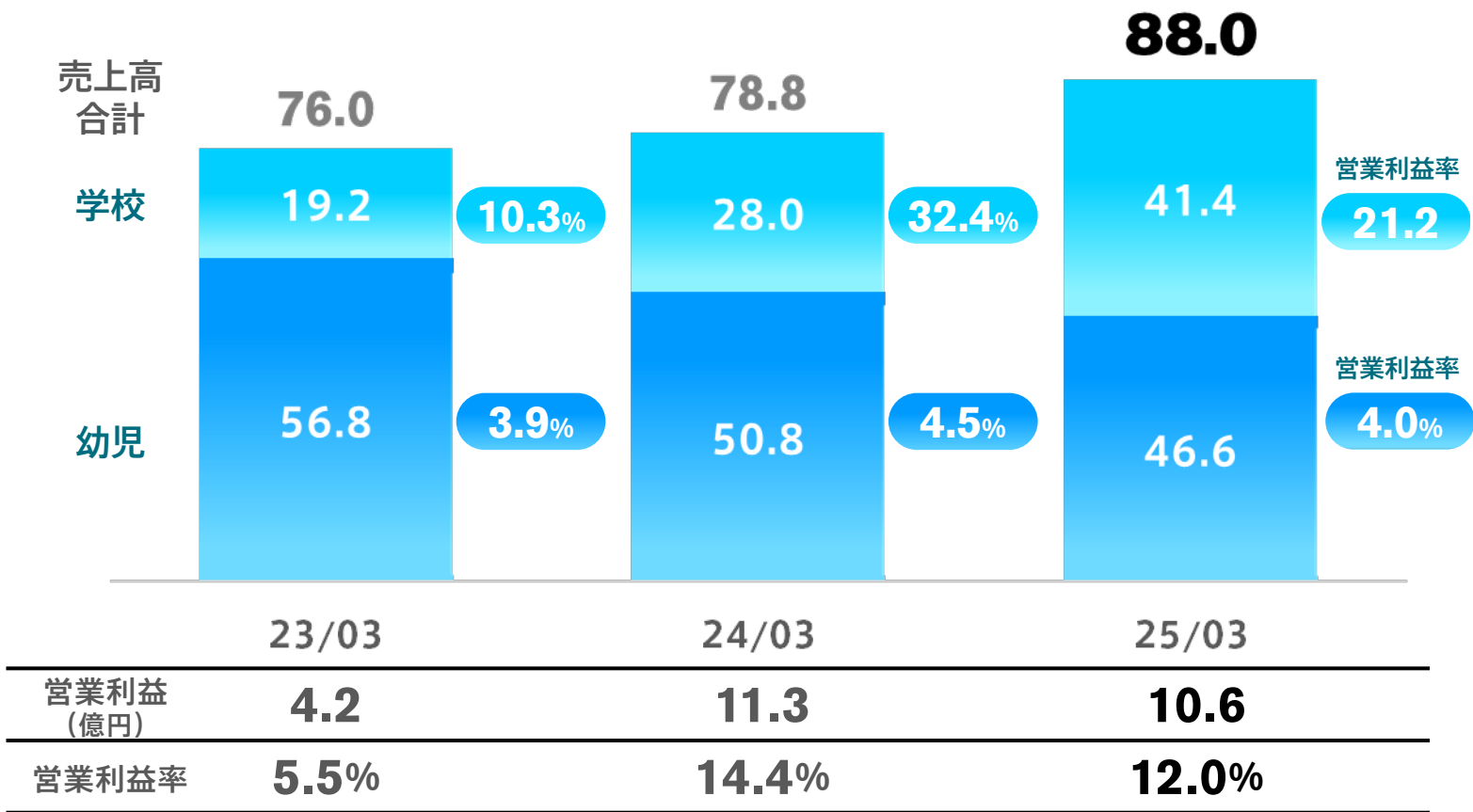
- 新刊点数の増加、返品率が前年同期比で改善 (△1.2%pt.)
- 実用書・高校学参書の好調
- 看護師eラーニング事業の業績順調
- オンライン英会話事業も有料会員数が増加

ネガティブ要素

- 製造原価高等によるコスト増

園・学校事業 業績サマリー

単位：億円



ポジティブ要素

- ・ 桐原書店グループインによる増収増益貢献

ネガティブ要素

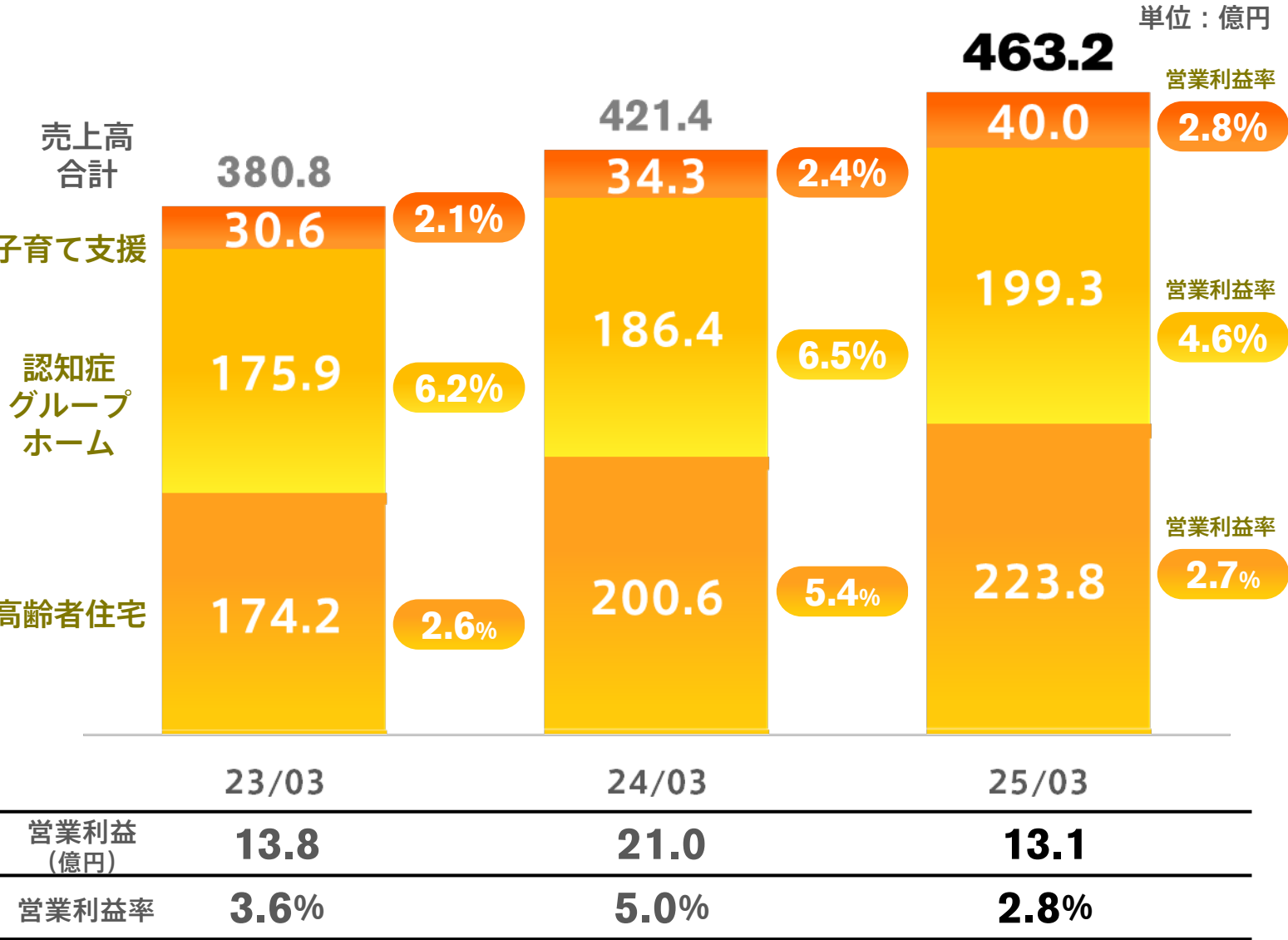
- ・ 学校事業における昨年度の小学校教科書改訂の反動減
- ・ 幼児事業では、受注が回復せず、減収減益

医療福祉分野 業績

3つの事業で少子高齢化の社会課題に挑み、多世代が安心して暮らせる街づくりを進めます。

- 1) 高齢者住宅事業 … サービス付き高齢者向け住宅、介護サービス拠点等の企画・開発・運営
- 2) 認知症グループホーム事業 …… グループホームの運営や関連サービスの企画・開発・運営
- 3) 子育て支援事業 … 保育園・こども園・学童施設・児童発達支援施設等の企画・開発・運営

医療福祉分野 業績サマリー



ポジティブ要素

- 新規開設順調（2Q）
 - 高齢者住宅 +5事業所
 - 認知症GH +6事業所
 - 子育て支援 +2事業所
- 入居率、充足率は高水準で推移
 - 高齢者住宅 96.9%
 - 認知症GH 97.3%
 - 保育園 95.8%
- サ高住、GHで新料金の適用開始

ネガティブ要素

- 食材費、水光熱費等の物価高騰に伴うコスト増
- 建築コスト高騰による新規開設へのハードル

Gakken2025 進捗

A large, dynamic green brushstroke that starts from the bottom left and sweeps upwards and to the right, ending near the top right corner of the slide.

Gakken 2025 テーマ「SHIFT」

**Gakken
2023**

「揺るぎない成長基盤の確立」
—DX加速とグローバル展開—

教育

新たな学びの創出と
多様な学習機会の創出

医療
福祉

トップカンパニーを目指し
持続可能な街づくりに貢献

2021-2023

**Gakken
2025
SHIFT**

Gakken2023の積残し課題を解決し
新たなステージにはずみをつける

教育

重点領域の再強化と
新規事業への挑戦

医療
福祉

トップカンパニーに向けての
医療福祉事業の深化と
サステナビリティの追求

2024-2025

**Gakken
2030
Aspiration**

人の可能性を
どこまでも追求する会社へ

2026-2030

設立
80周年

Gakken 2025 のグループ戦略



① (株)レアジョブとのパートナーシップの深化

(株) レアジョブとの資本業務提携を発展させ、語学サービスを一層強化

レアジョブ社を2025年1月30日付で持分法適用会社化



桐原の既存コンテンツを
レアジョブグループで提供する
ALT派遣サービス教材として活用開始

＜取組を進めている協業分野＞

- ① オンライン英語事業
- ② 学校教育市場における協業
- ③ 資格事業の共同開発・運営の検討
- ④ 教育のデジタル化に向けた共同開発、人材融合の開始

② (株)ポプラ社中国現地法人とのパートナーシップ締結

(株)ポプラ社中国現地法人との資本業務提携を締結し、グローバルコンテンツ・IP戦略を加速

両社のコンテンツ・IPを中国、そして世界へ
展開するオールジャパン体制構築を推進



具体的な
協業分野

- ① 両社コンテンツの企画・販売連携
- ② 中国に特化したオリジナルコンテンツ開発
- ③ 他社含めた良質な日本のコンテンツ・IPの世界への展開



③ 継続的な医療福祉事業規模の拡大・原価高騰への対応

厳しい事業環境の中でも、社会要請の高い領域での成長基調を維持・拡大

事業規模の継続拡大

建設コストの上昇によって新規出店の難易度が
高まっている事業環境下においても、
施設の大規模化や積極的なM&Aにより事業規模を拡大

	80期 計画値	80期上期 新規開設数	80期 見通し
高齢者住宅	24 (1,200)	5 (343)	16 (1,037)
認知症 グループホーム	14 (252)	6 (108)	12 (216)
※括弧内は戸数・居室数	38 (1,452)	11 (451)	28 (1,253)

物価高に即した価格改定

水道光熱費や食材、消耗品費等が
前年と比較して高騰する中、高いクオリティの
サービスを維持するために価格改定を実施

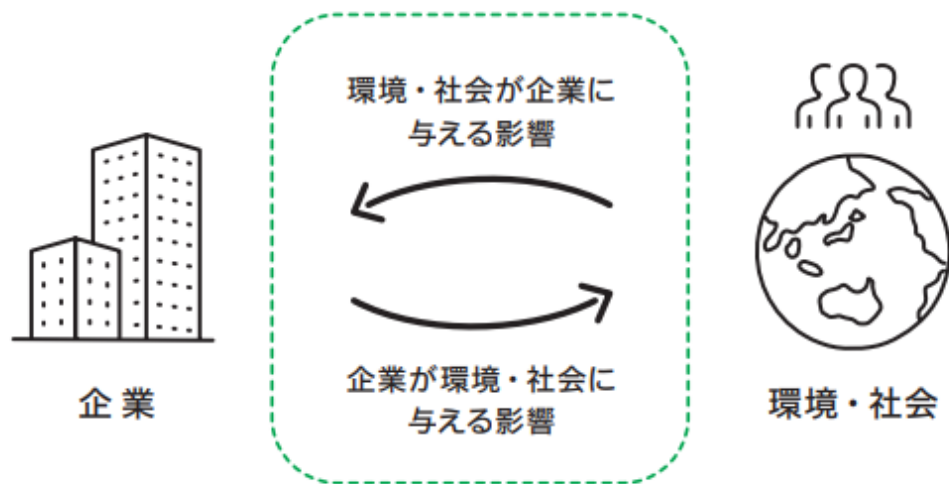
下期増収効果 約 5 億円

高齢者住宅	2025年3月より施設ごとに価 格改定を実施
認知症 グループホーム	2025年2月より施設ごとに順 次価格改定を実施

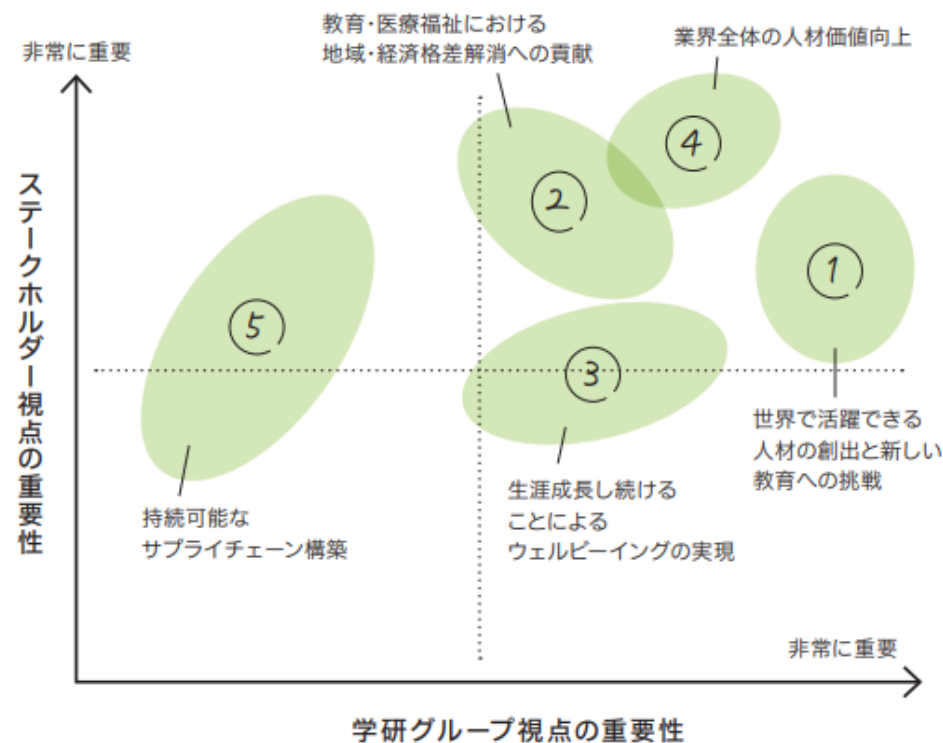
④ 「学研グループ統合報告書2025」の公表

ダブル・マテリアリティを追求し、事業・社会の双方にインパクトを創出

学研グループのビジョンや事業戦略、競争優位性といった“企業の視点”と、
自社を取り巻くステークホルダーからの要請や期待といった“社会の視点”からの課題を分析・評価し、
グループで対応すべき重要課題を絞り込み

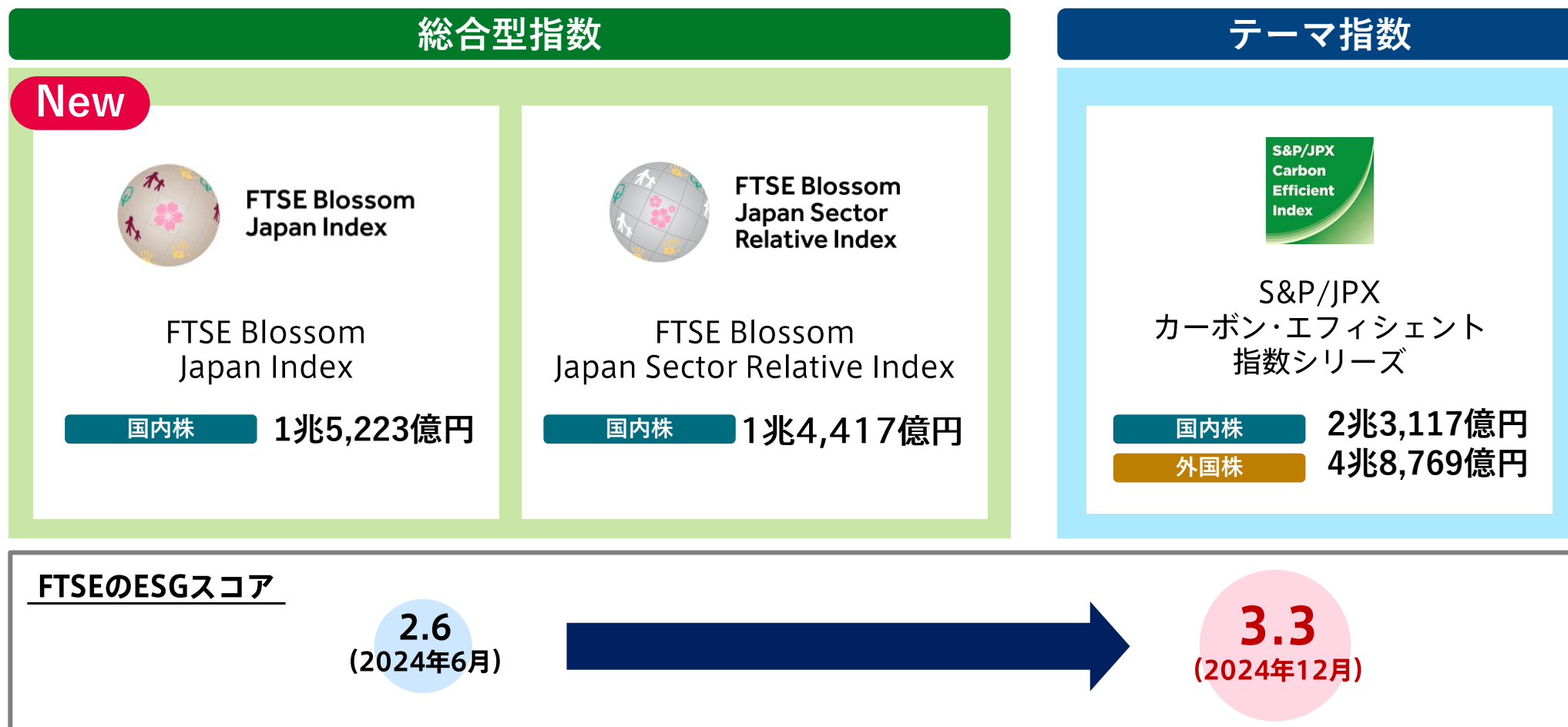


上記の両方を重視する考え方が
ダブル・マテリアリティ



⑤ ESG指数への採用

2024年12月に「FTSE Blossom Japan Index」での採用が決まり、GPIFで採択されているESG指数のうち3つに選出

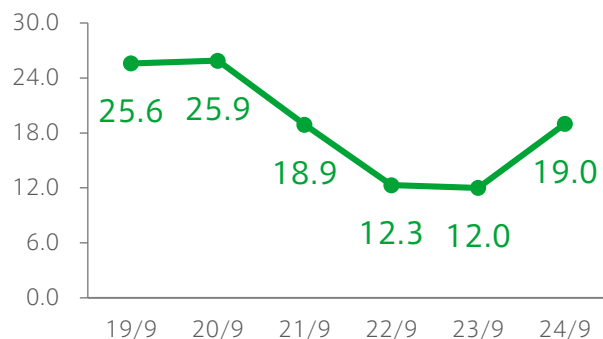


金額は2024年3月末時点でのGPIFの運用資産額（出典：GPIFホームページより）

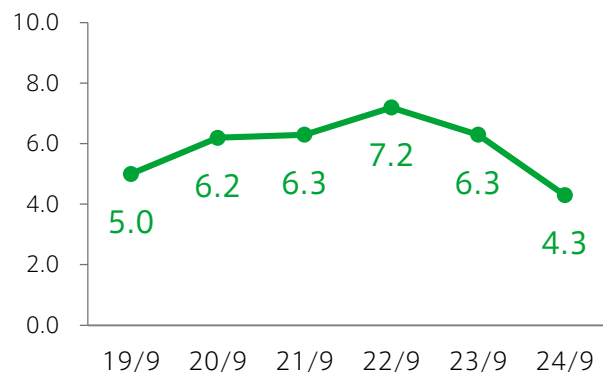
⑥ 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

PER・ROEの向上へ

PER (倍)



ROE (%)



成長戦略の着実な実行

- ・ グローバル、リカレントリスキリング等、成長領域への投資継続
- ・ M&A/事業売却による事業ポートフォリオの入替え推進

資本効率向上

- ・ 投資事業のモニタリング強化による効率性の改善
- ・ 政策保有株式縮減による資産の有効活用

株主還元

- ・ 10億円規模の自己株式取得の実行
- ・ 配当性向30%以上の継続

Gakken 2025 重要指標

グループ財務指標 単位：億円

	24/9実績	25/9予想
売上高	1,855	2,000
営業利益	68	70
EBITDA	111	113
経常利益	69	72
当期純利益	22	35
ROE	4.3%	6.6%

セグメント 単位：億円

	24/9実績	25/9予想
教育分野		
売上高	918	980
営業利益	41	42
医療福祉分野		
売上高	875	920
営業利益	42	45
その他（含む調整額）		
売上高	61	100
営業利益	-15	-17

今日、いくつ挑戦した？
Gakken

株式会社 学研ホールディングス

本資料には、事業計画に関する記述が含まれております。こうした記述は、当資料の作成時点における経済環境や事業方針等の一定の前提に基づき作成しております。従って、実際の業績がこれらの事業計画とは異なるリスクや不確定要素が存在することを予めご承知おき下さい。

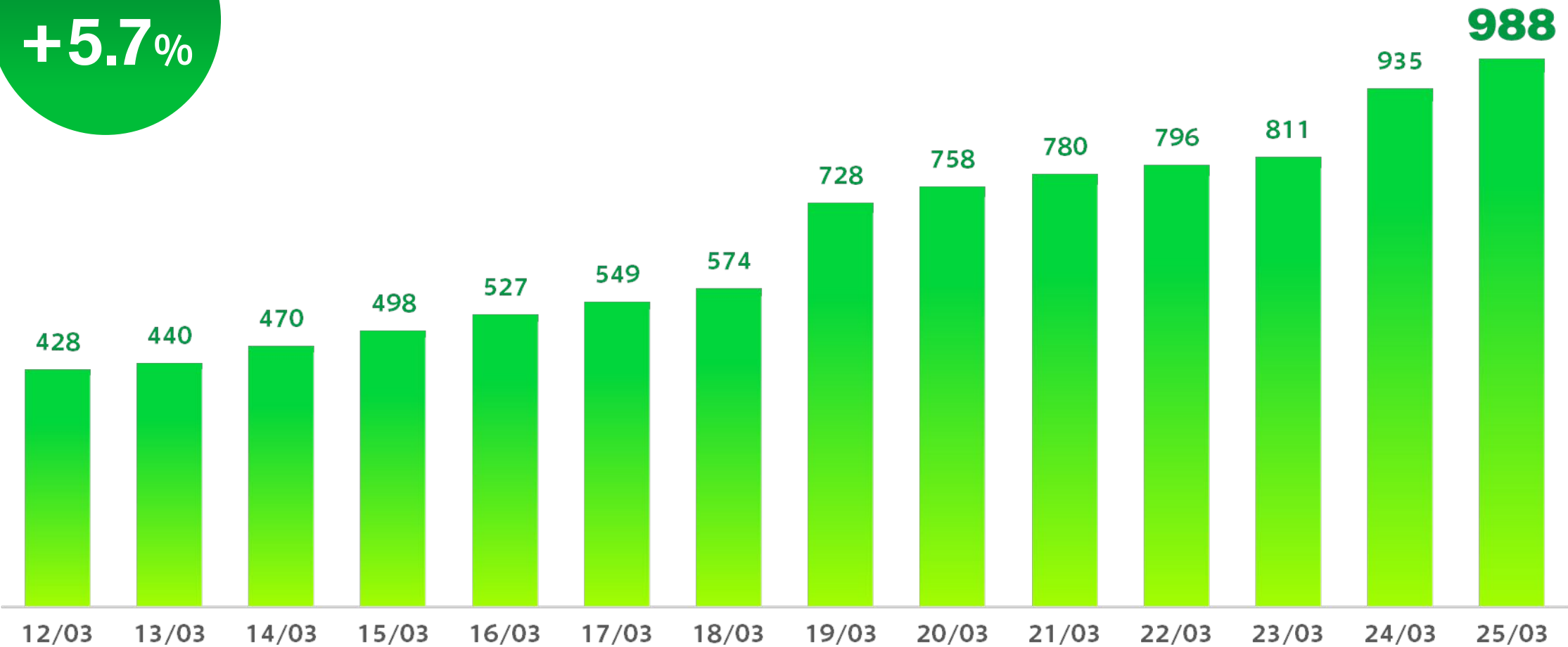
決算補足資料

A large, vibrant green brushstroke that starts from the bottom left and sweeps upwards and to the right, ending near the top right corner of the slide.

2Q 売上高 推移

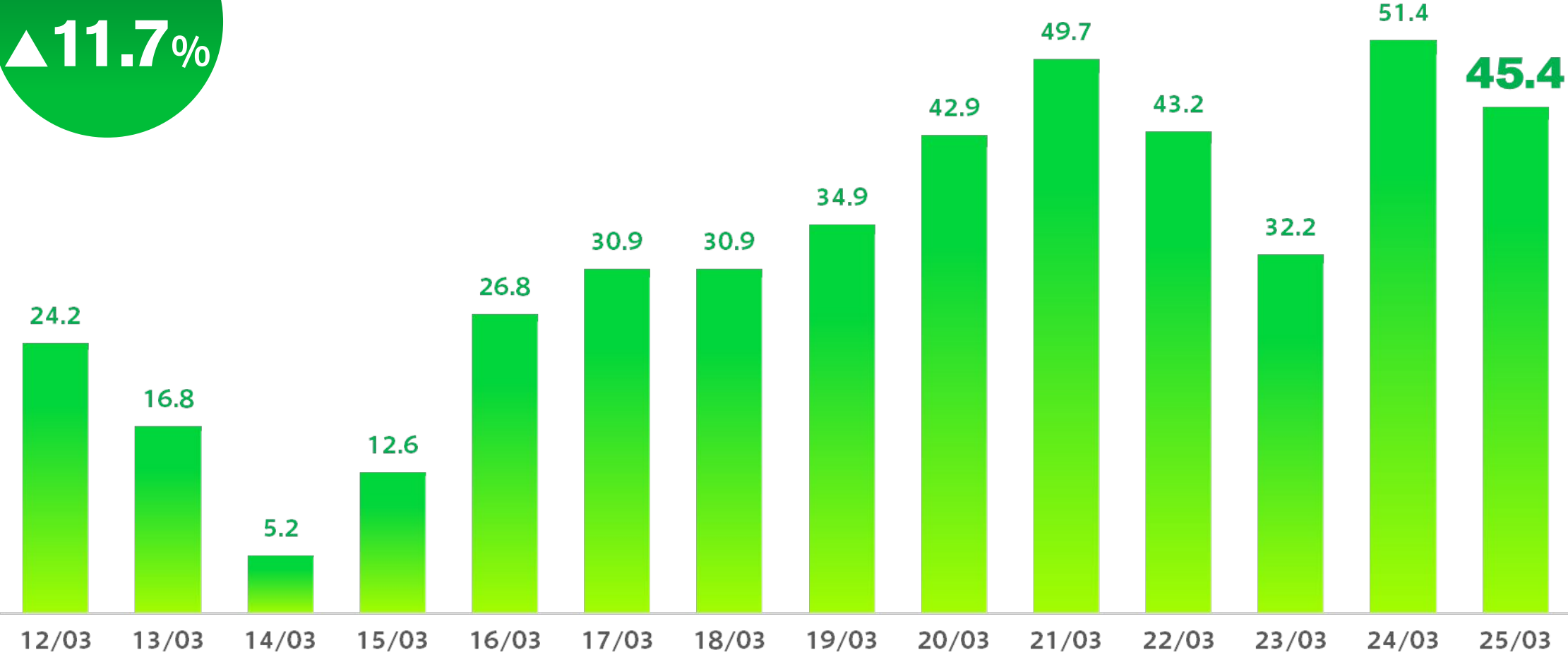
単位：億円

前年同期比
+5.7%



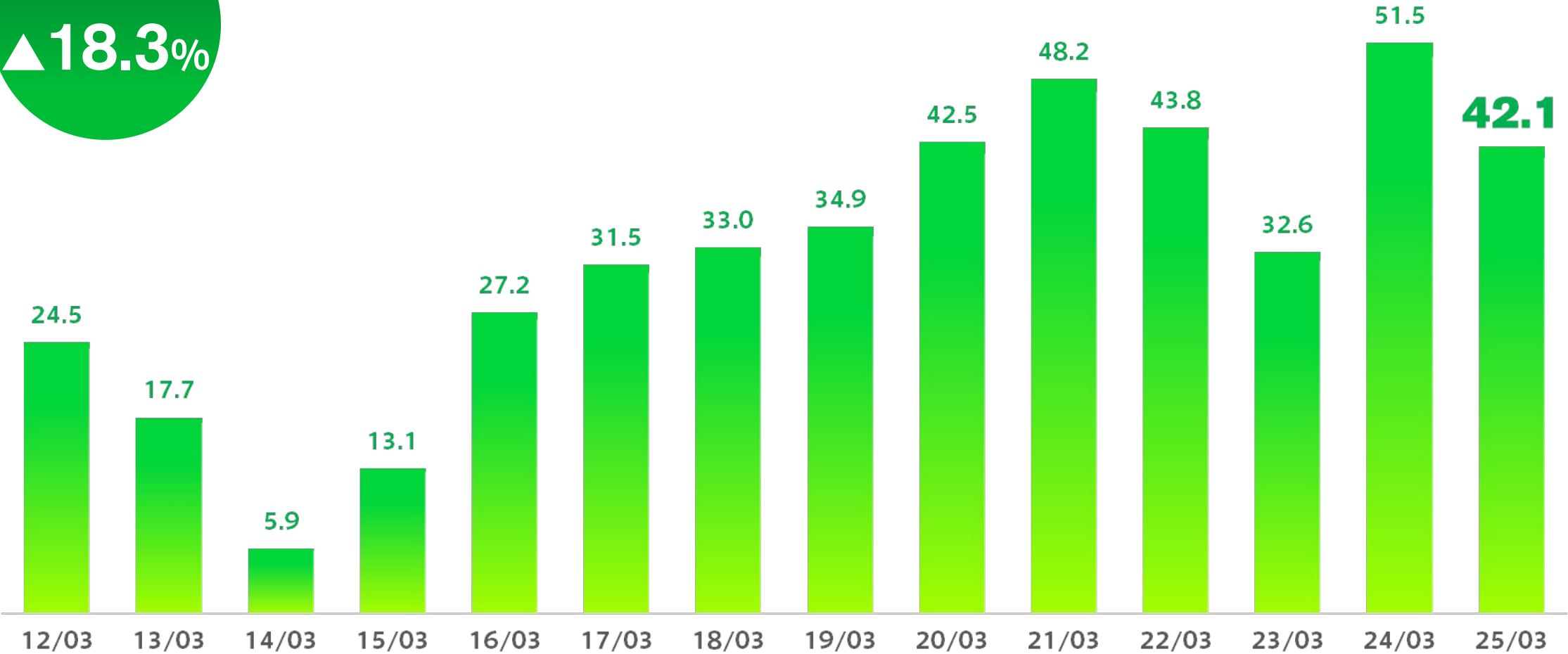
2Q 営業利益 推移

単位：億円



2Q 経常利益 推移

単位：億円

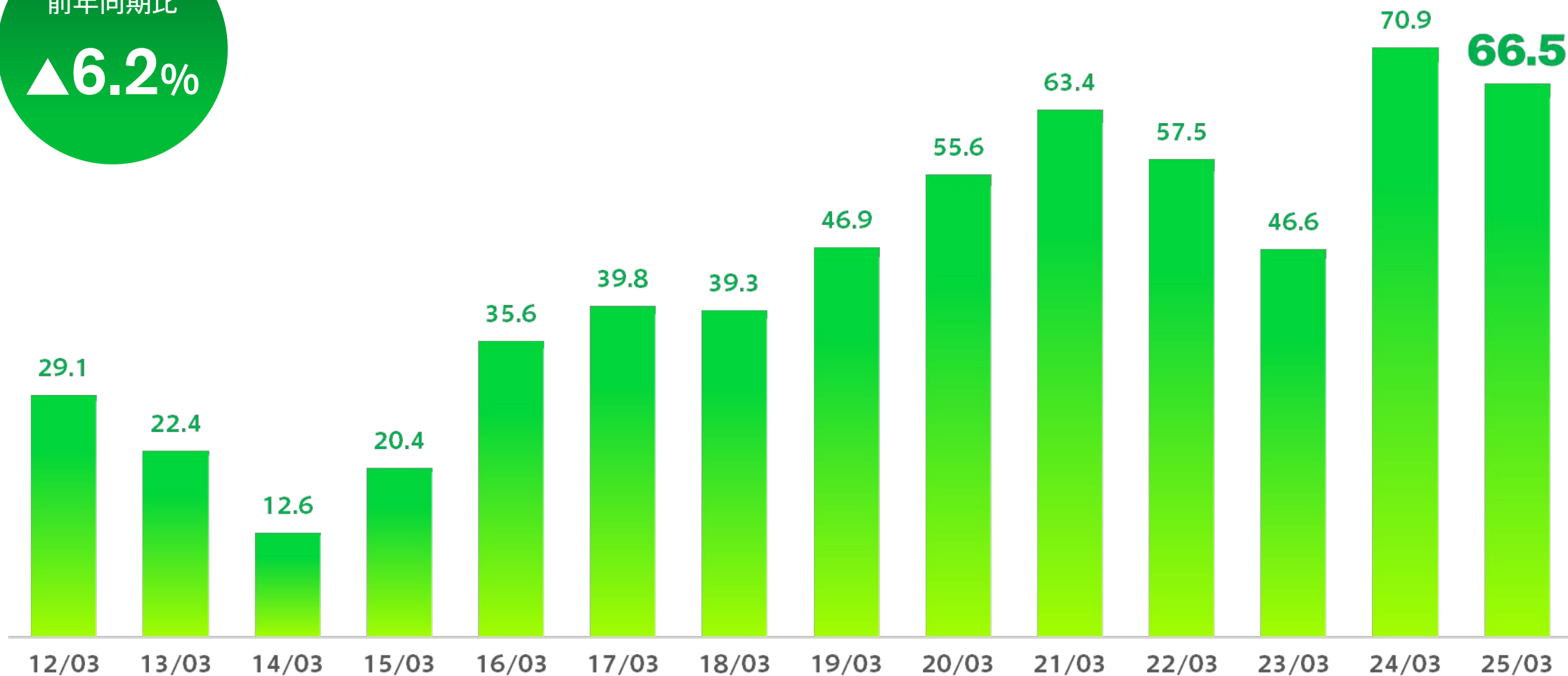


2Q EBITDA* 推移

※営業利益・減価償却費・のれん償却費の合算

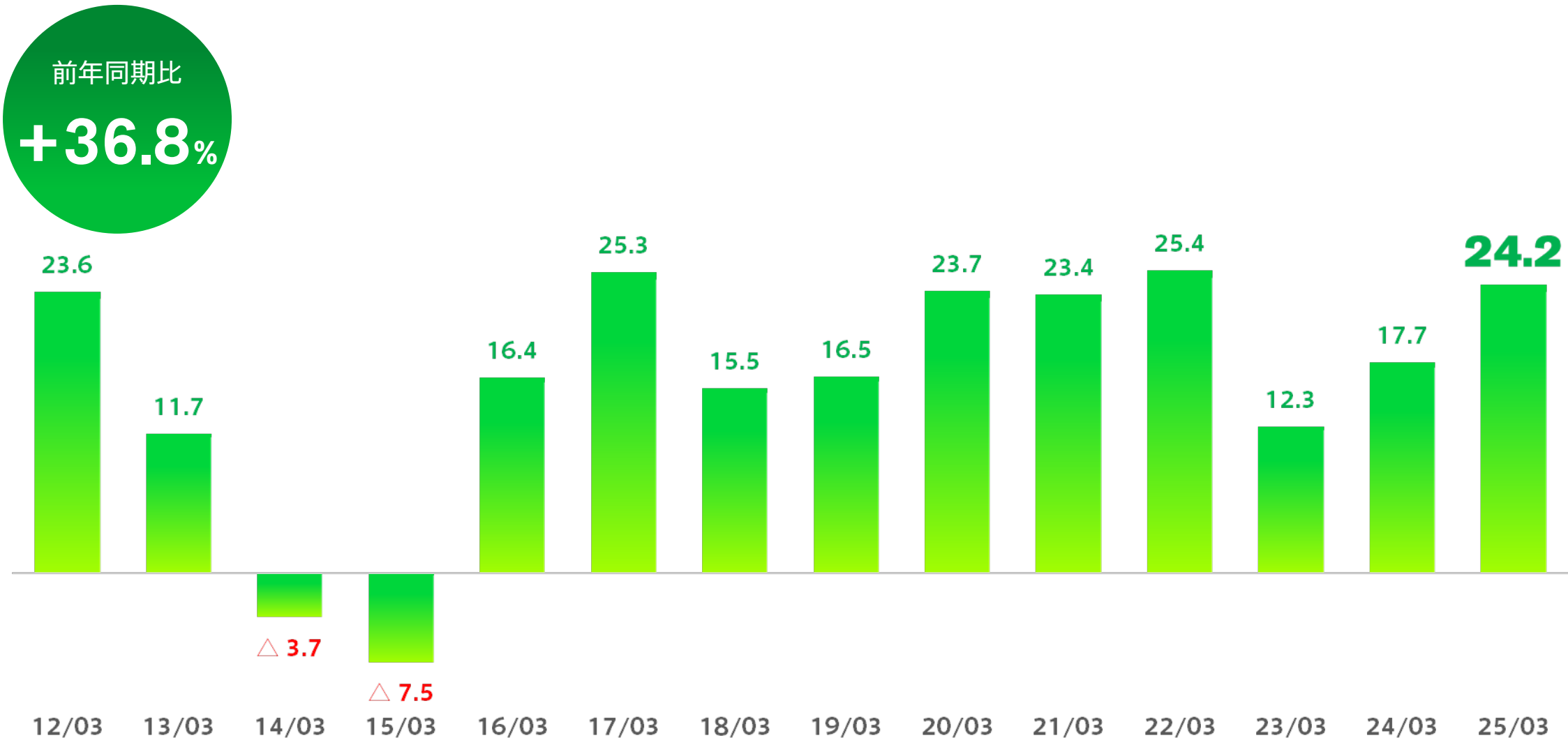
単位：億円

前年同期比
▲6.2%



2Q 中間純利益 推移

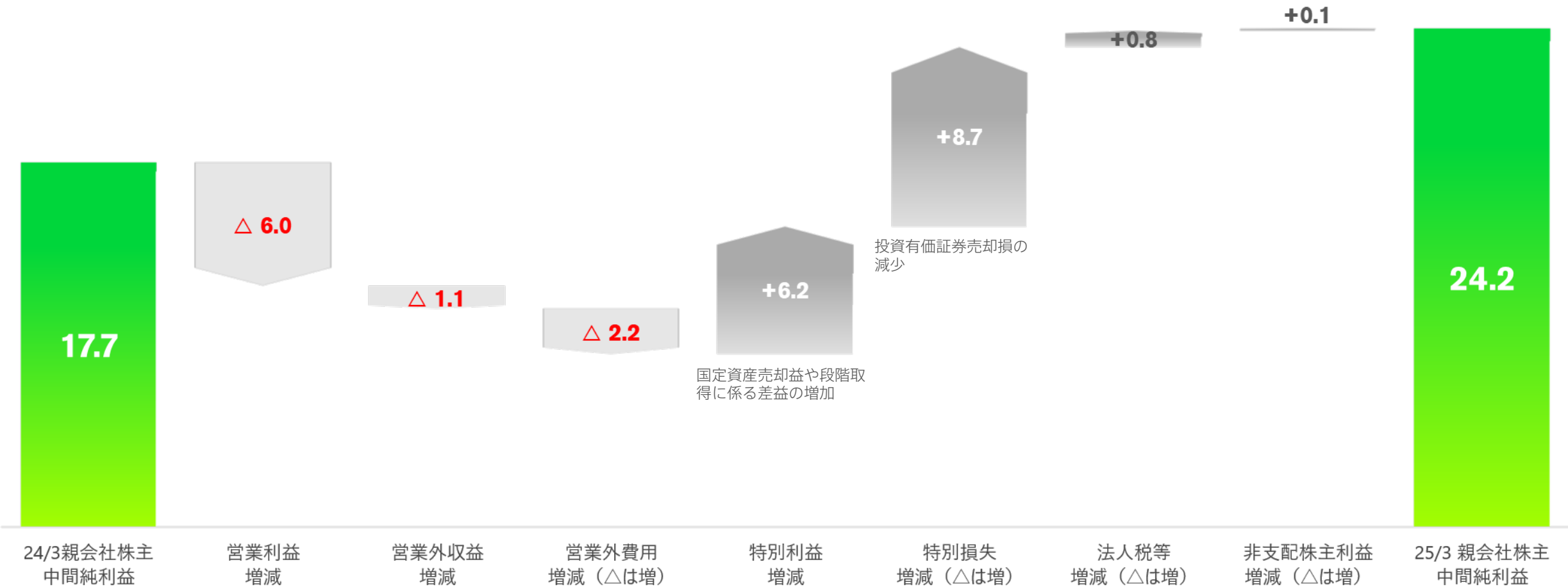
単位：億円



親会社株主に帰属する中間純利益の増減分析

前期に発生した株式売却損の消滅を主因に中間純利益では増益

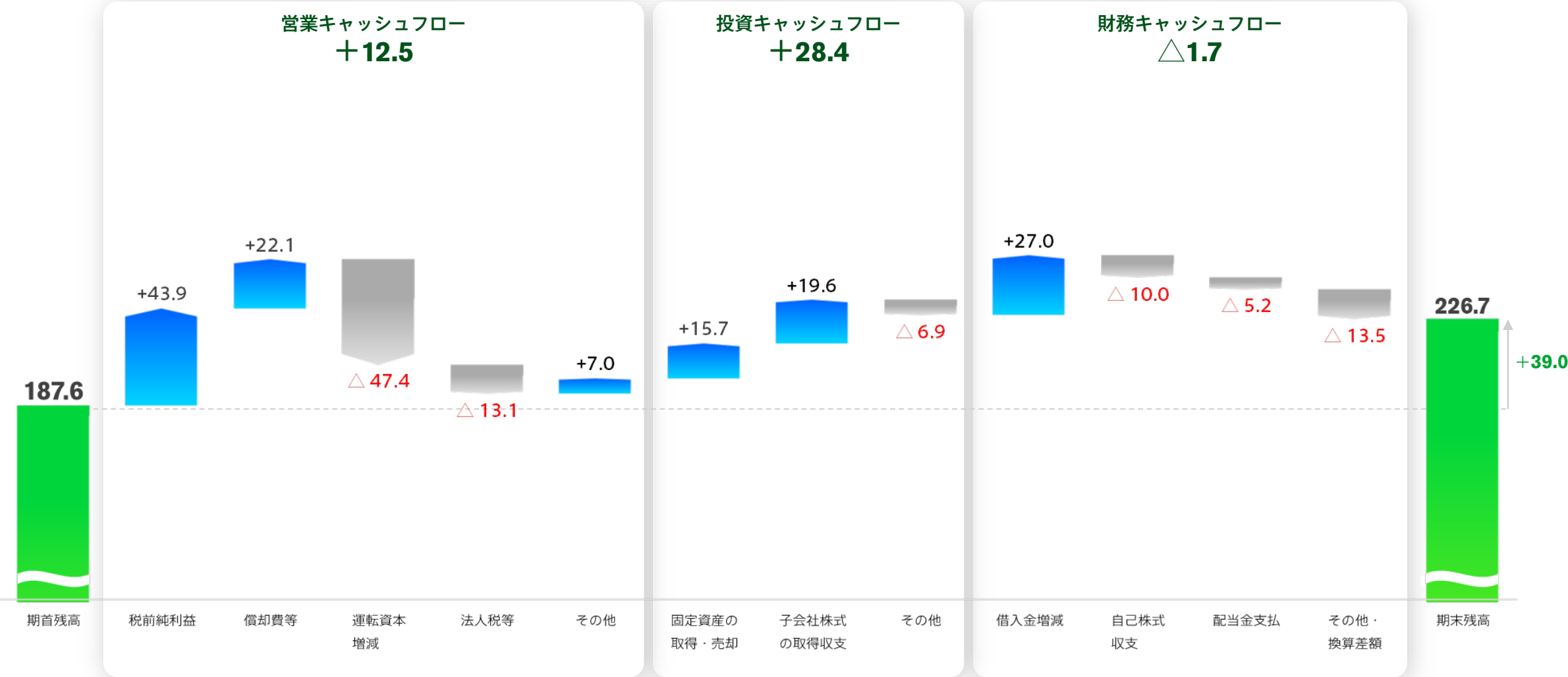
単位：億円



連結キャッシュフロー

単位：億円

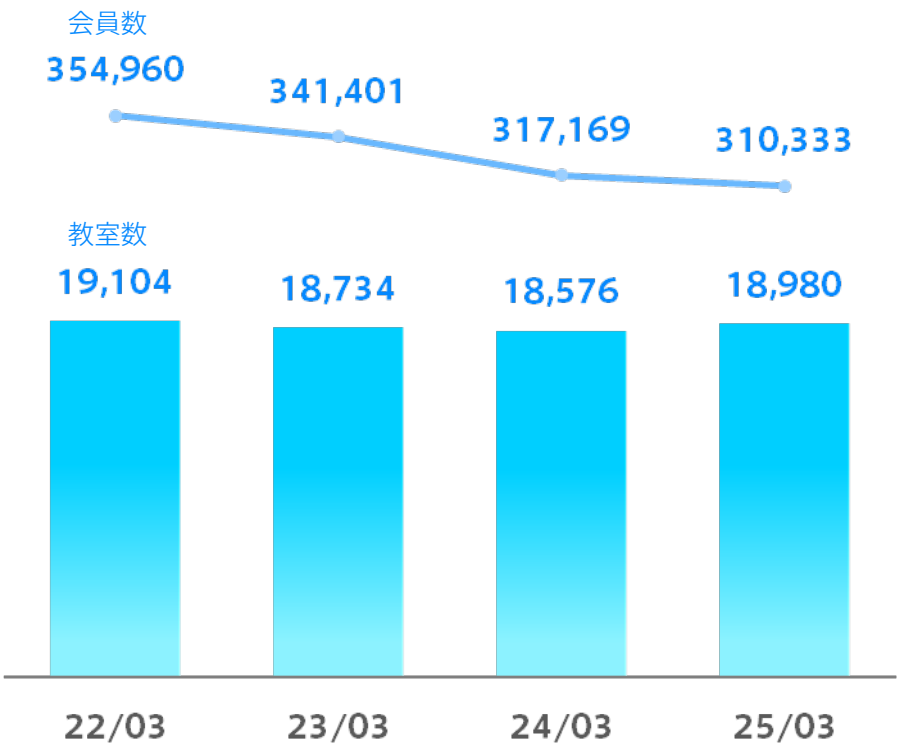
営業キャッシュフローは償却前利益の増加で+12.5億円。投資キャッシュフローは固定資産の売却により+28.4億円、借入金返済や社債発行・償還により財務キャッシュフローは△1.7億円となり、現預金は39.2億円増加



教室・塾事業 会員数・教室数

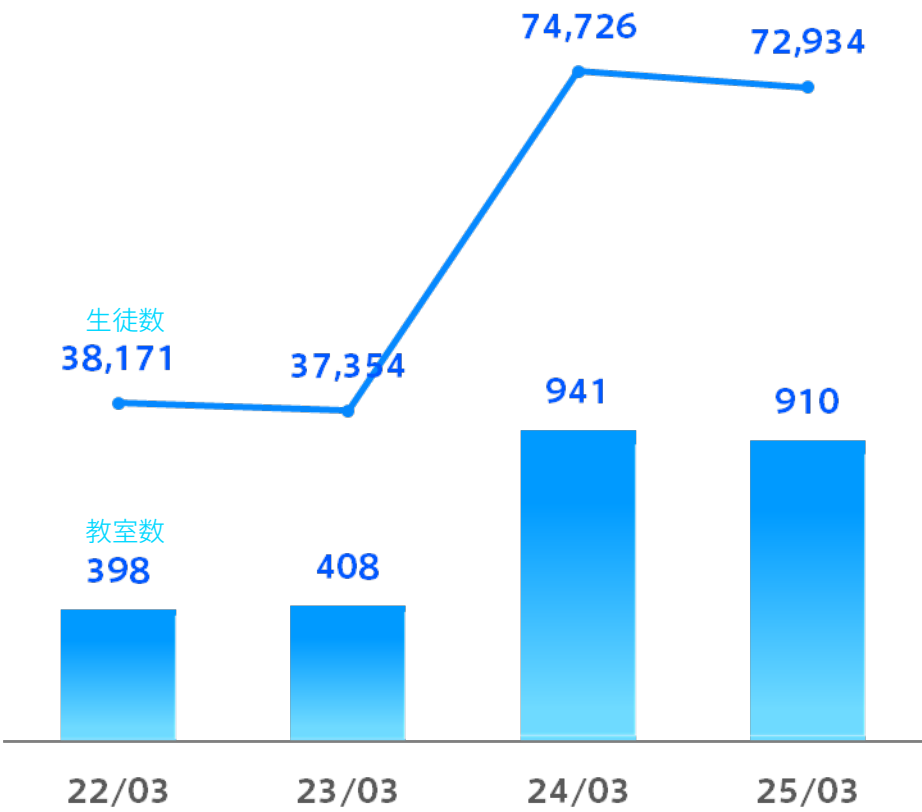
教室事業では教室数が増加に転じるも、会員数は回復途上
塾事業は不採算教室の整理等で教室数・生徒数共に減少も値上げにより収益・利益は確保

教室



※会員数、教室数は学研教室と幼児教室の合算です。

塾



※2023年5月に(株)エヌイーホールディングスがグループイン
※2023年7月に(株)市進ホールディングスを連結化

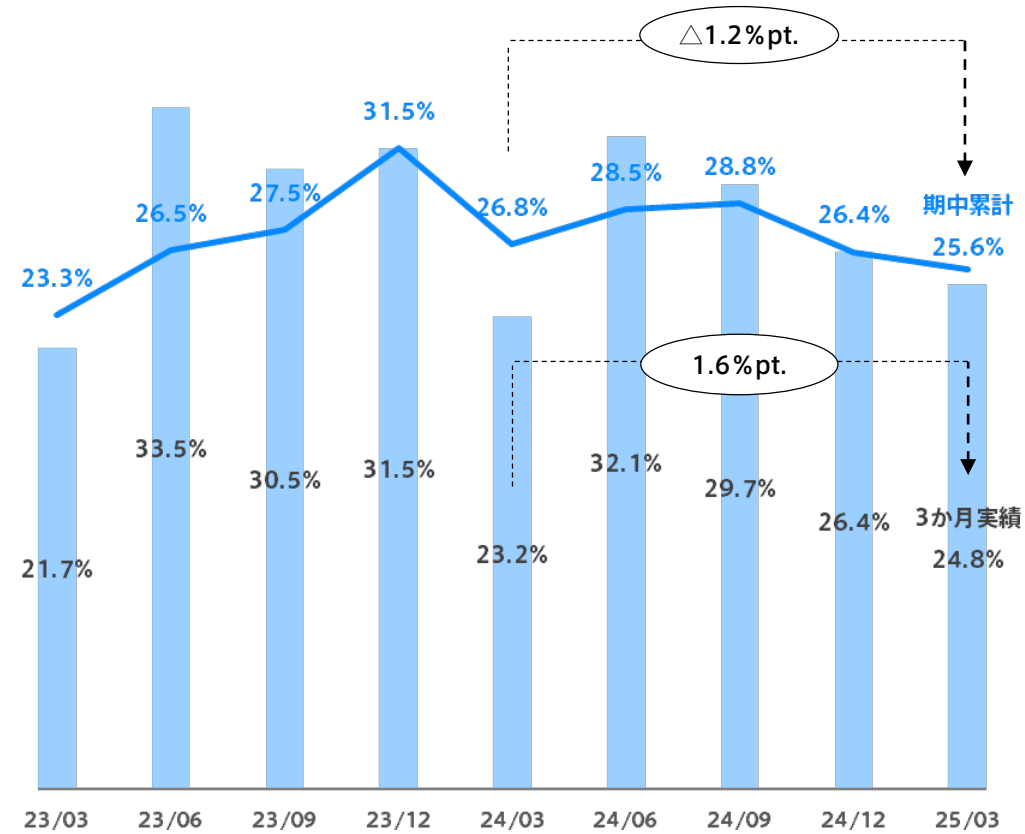
出版事業 書籍新刊点数／返品率*

2Qの新刊点数は昨年比+31点と増加。返品率は25.6％で前年同期比△1.2％pt.と改善

書籍新刊点数（期中累計）

	23/3	24/3	25/3
児童書	82	97	82
学習参考書	97	79	94
実用書	123	109	124
ムック	13	21	17
その他書籍	80	78	98
合計	395	384	415

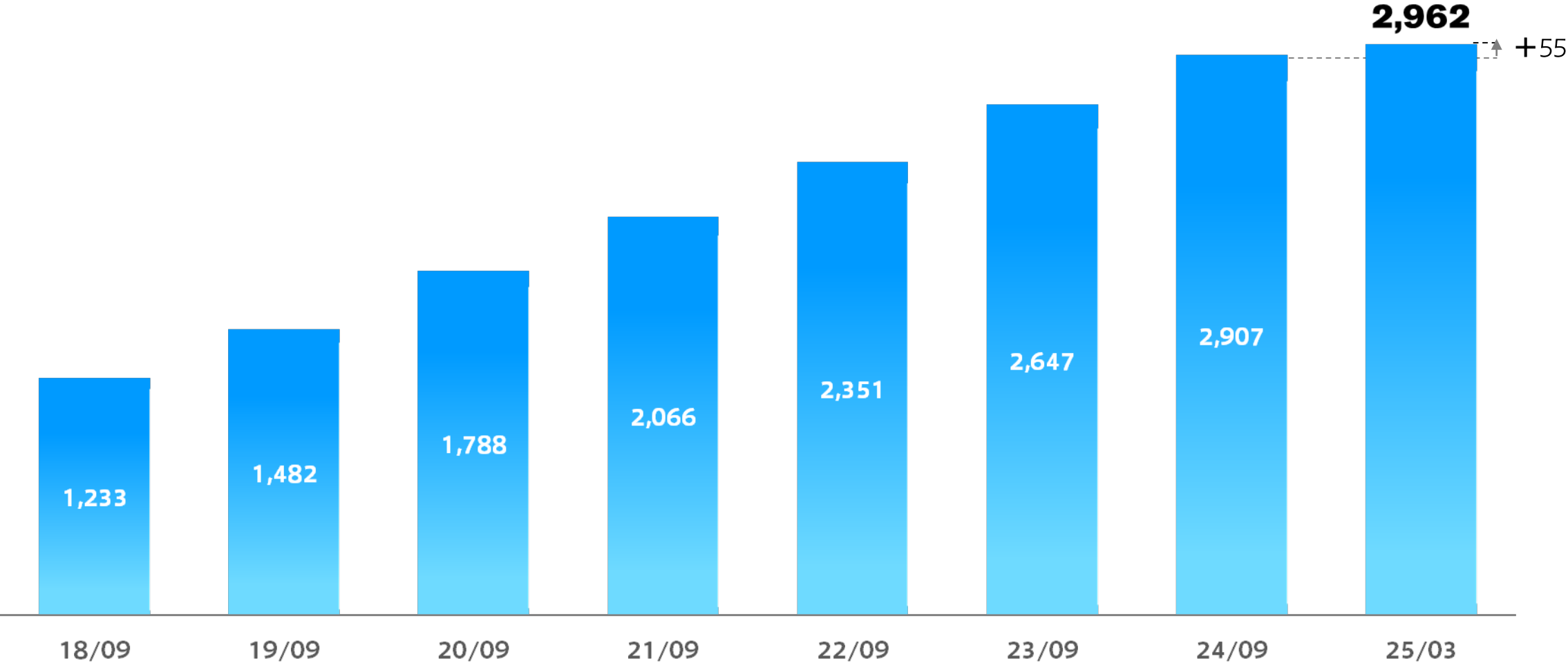
書籍返品率



*書籍（雑誌は含まず）新刊点数及び書籍返品率は、（株）Gakken と（株）地球の歩き方の合算です。

語学・社会人教育事業 看護師eラーニング契約病院数

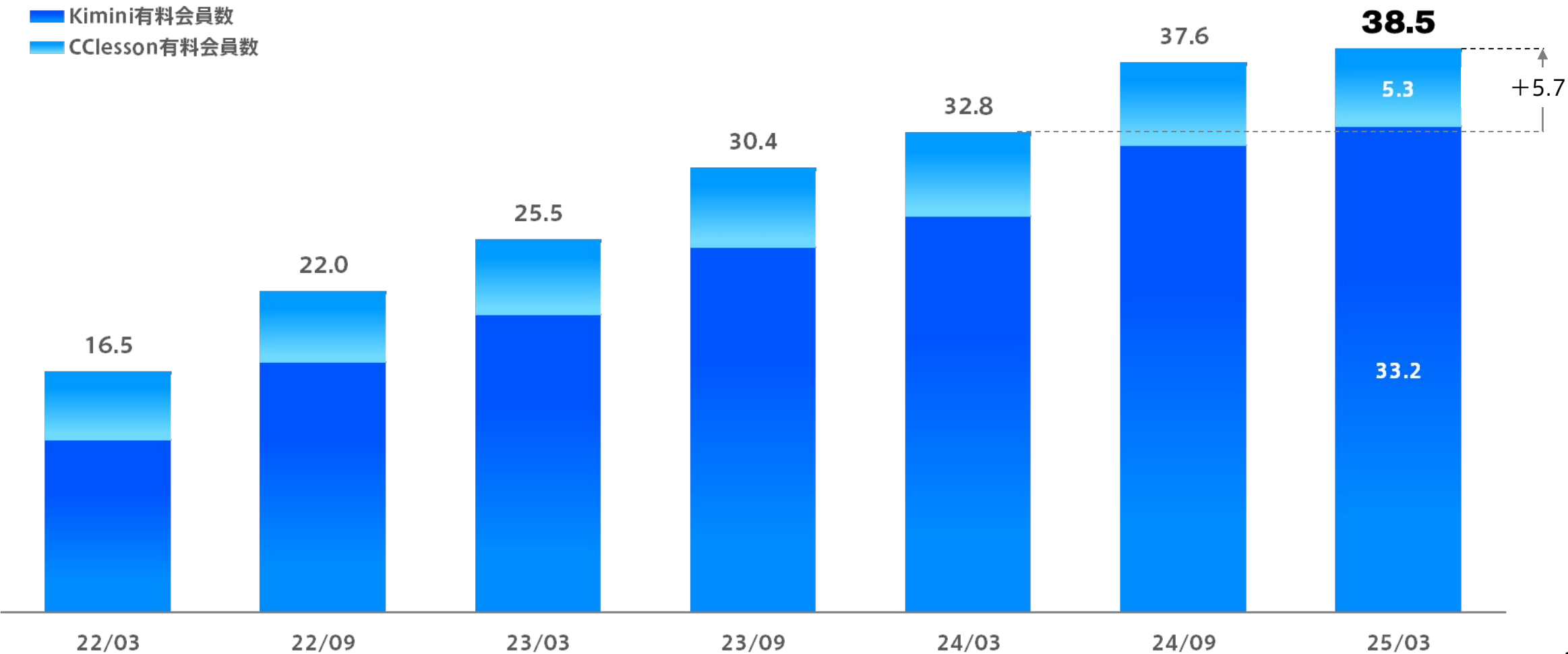
病院の新年度となる3Q（4月以降）での増加が期待されるも、2Qにおいても増加傾向は維持



語学・社会人教育事業 語学オンライン会員数

Kiminiの認知度Upに加え、プロモーションが奏功し、英語は登録会員数が順調に推移

単位：1,000名



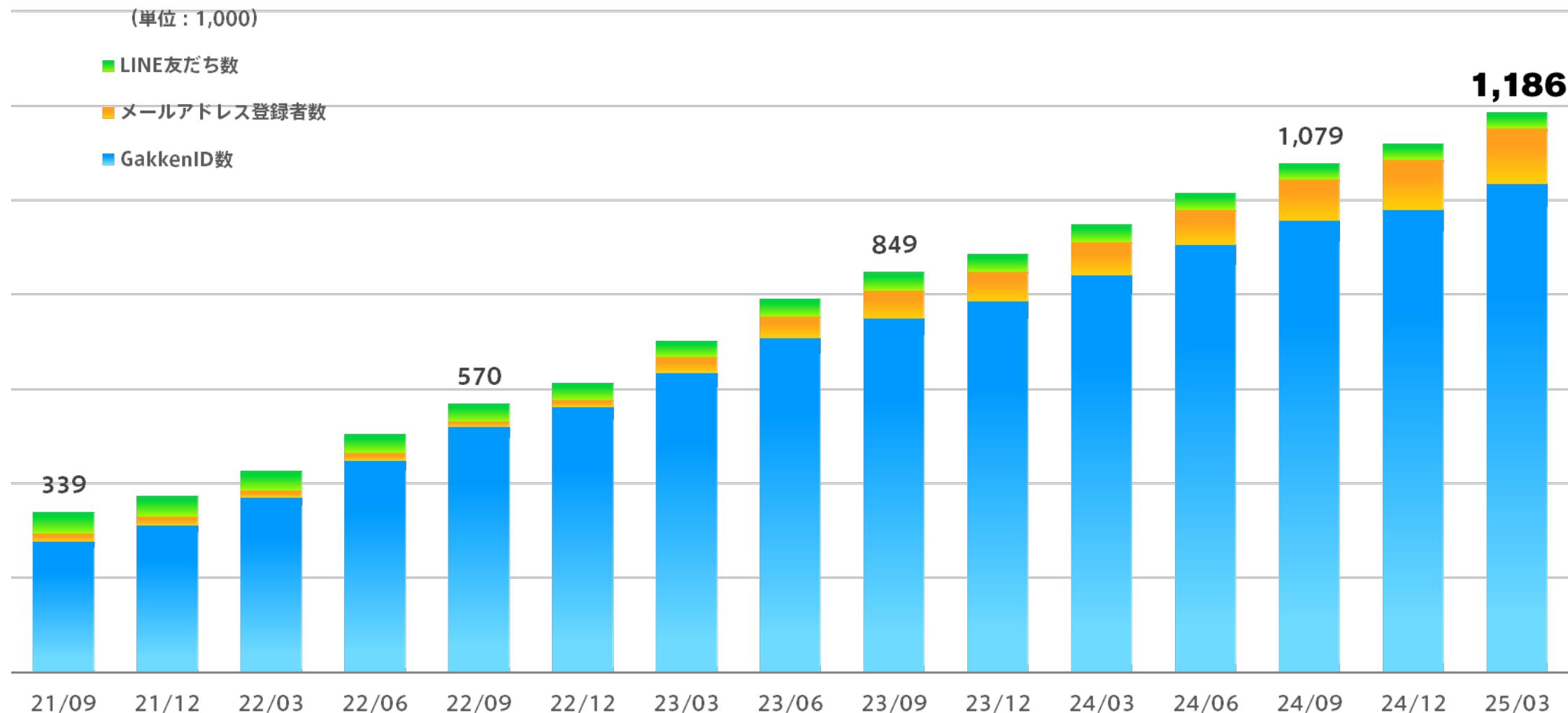
学校事業 教科書改訂スケジュール

△ 検定：文部科学省の調査（教科書としての適正性） ● 採択：所管の教育委員会または学校による決定 ◎ 使用開始：各学校に供給し、児童生徒へ

			2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
Gakken	小学	保健	△	●	◎		26年度 以降未定
Gakken	小学	道德	△	●	◎		
Gakken	中学	保体		△	●	◎	
Gakken	中学	道德		△	●	◎	
桐原書店	高校	英語	(英Ⅰ) ◎ (英Ⅱ) ● (英Ⅲ) △	(英Ⅰ) ◎ (英Ⅱ) ● (英Ⅲ) ●	(英Ⅰ) △ (英Ⅱ) ◎ (英Ⅲ) ◎	(英Ⅰ) ● (英Ⅱ) △ (英Ⅲ)	(英Ⅰ) ◎ (英Ⅱ) ● (英Ⅲ) △
桐原書店	高校	国語	(必修) ◎ (選択) ●	(必修) ◎ (選択) ◎	(必修) △ (選択)	(必修) ● (選択) △	(必修) ◎ (選択) ●

DX戦略 グループ・ダイレクト・タッチポイント

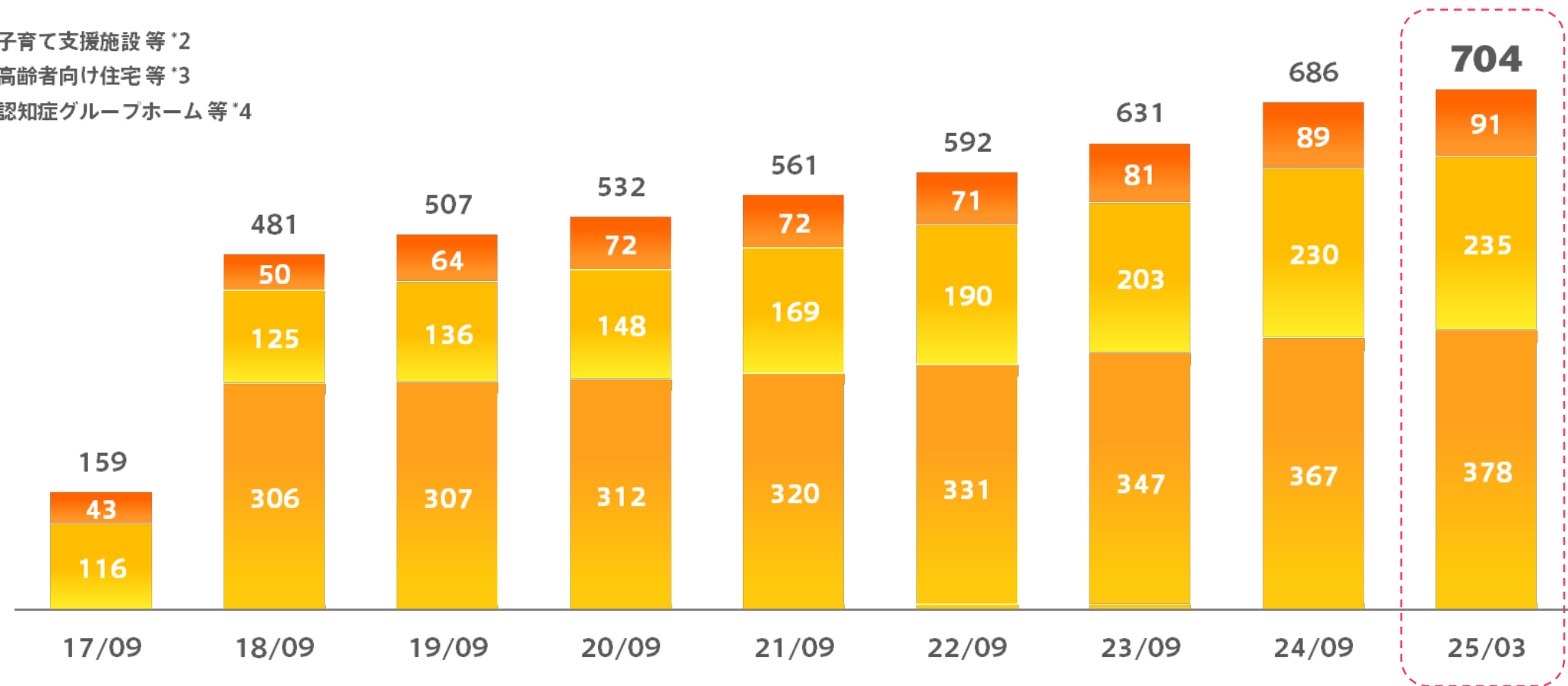
ID取得合計数は110万件を超えて、なお順調に拡大中



医療福祉分野 拠点数推移^{*1}

新規開設、及びM&Aも活用しながら、施設数を増加中

- 子育て支援施設等^{*2}
- 高齢者向け住宅等^{*3}
- 認知症グループホーム等^{*4}



^{*1} 記載の数値は新規開設数と閉鎖数の差し引きです。海外拠点を含み、(株)市進ホールディングスが運営する介護サービス拠点は含みません。

^{*2} 保育所、学童施設、児童発達支援施設、フリースクール、学習支援施設の合算。

^{*3} サービス付き高齢者向け住宅の他に、訪問介護ステーションなど他区分拠点を含みます。

^{*4} 認知症グループホームの他に、特定施設、小規模多機能型居宅介護拠点など他区分施設を含む。

医療福祉分野 開設^{*1}計画と進捗

建設コストの上昇により新規出店が難しい環境下で、高齢者住宅と認知症グループホーム合計13拠点開設。
子育て支援施設は児童発達支援施設を2件開設し、今後は学童受託の増加を見込む

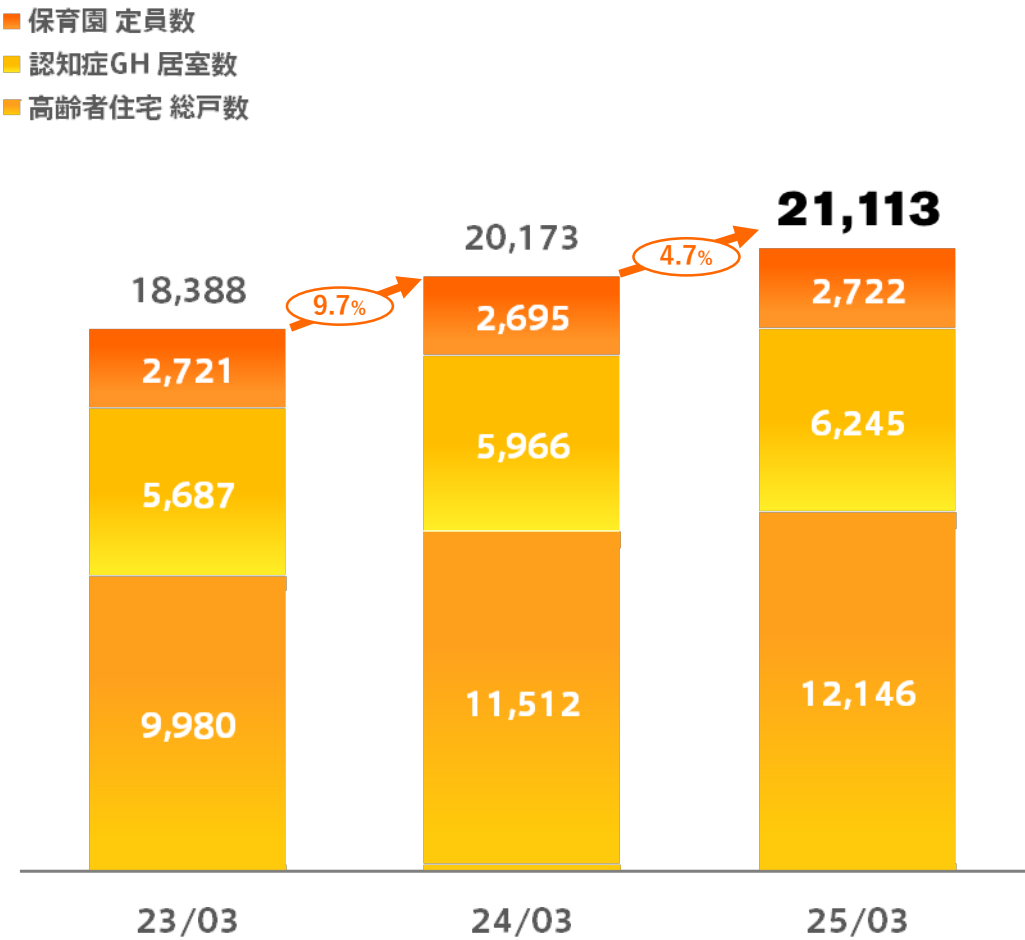
単位：開設数

	2024/9期		2025/9期	
	開設実績	通期 計画	上期実績	対計画 進捗
高齢者住宅	27	24	5 M & A1件	20.8%
認知症 グループホーム	15	14	6 M & A6件	42.9%
子育て支援施設 ^{*2}	8	11	2	18.2 %
合計	50	49	13	26.5%

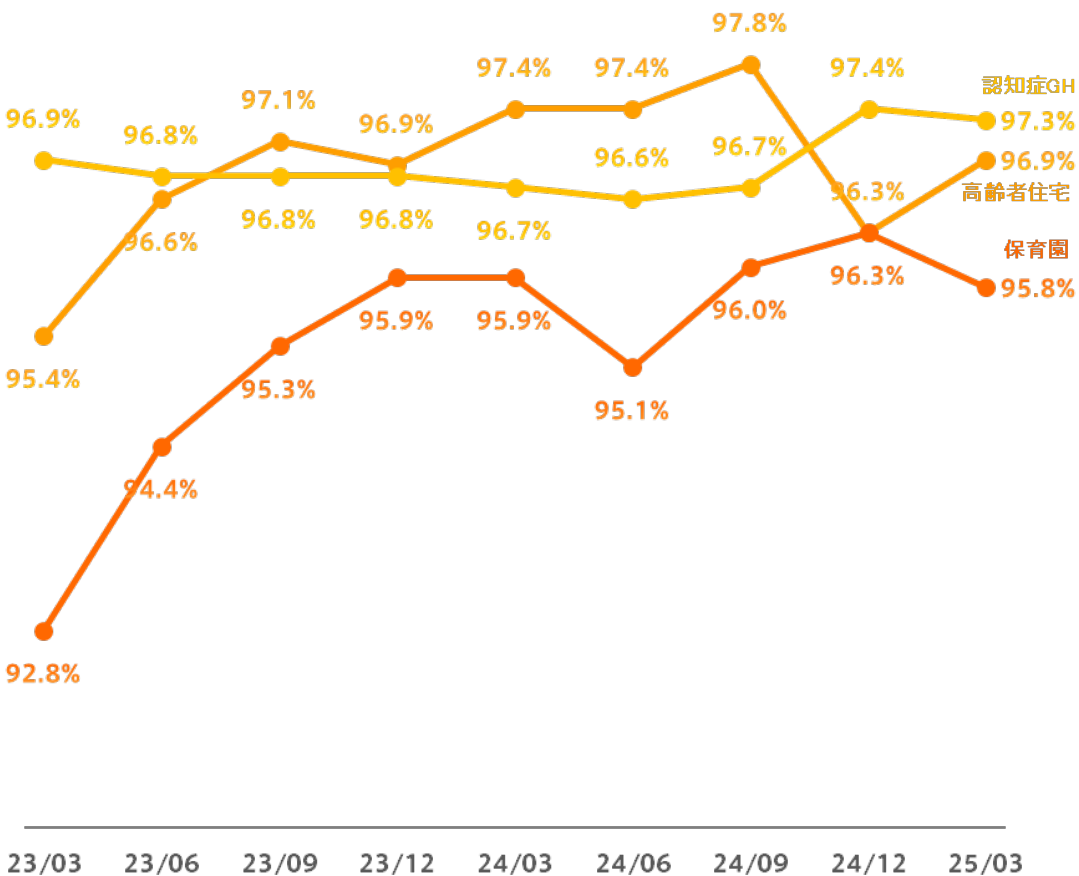
※ 1 国内拠点のみの数値です。同期間の閉鎖数を差し引いておりません。(株)市進ホールディングスが運営する介護サービス拠点は含みません。
※ 2 保育所、学童施設、児童発達支援施設、フリースクール、学習支援施設の合算です。

医療福祉分野 キャパシティと稼働状況

総戸数・居室数・定員数推移



入居率・充足率推移



医療福祉分野 入居率・充足率

		21/09	22/03	22/09	23/03	23/09	24/03	24/09	25/3
高齢者住宅	総戸数	8,308	9,037	9,665	9,980	10,361	11,512	11,805	12,146
	入居数	7,505	8,345	9,073	9,519	10,062	11,210	11,541	11,775
	入居率	90.3%	92.3%	93.9%	95.4%	97.1%	97.4%	97.8%	96.9%
認知症 グループホーム	居室数 ^{*1}	5,372	5,444	5,570	5,687	5,858	5,966	6,137	6,245
	入居率	97.8%	97.6%	97.7%	96.9%	96.8%	96.7%	96.7%	97.3%
子育て支援施設	定員数 ^{*2}	2,661	2,664	2,721	2,721	2,695	2,695	2,722	2,722
	園児数	2,443	2,441	2,505	2,524	2,568	2,585	2,613	2,608
	充足率	91.8%	91.6%	92.1%	92.8%	95.3%	95.9%	96.0%	95.8%

*1 認知症グループホームの居室数に他区分施設の居室数は含まれません。

*2 子育て支援施設の定員数は保育所のみです。

今日、いくつ挑戦した？
Gakken

株式会社 学研ホールディングス

本資料には、事業計画に関する記述が含まれております。こうした記述は、当資料の作成時点における経済環境や事業方針等の一定の前提に基づき作成しております。従って、実際の業績がこれらの事業計画とは異なるリスクや不確定要素が存在することを予めご承知おき下さい。